

市内の経済団体に対するインタビュー調査結果①（神戸商工会議所）

■基礎情報

団体概要	・ 1878 年設立、約 11,400 の事業所が加入する県下最大の総合経済団体。 ・ 地域経済の発展と企業支援を目的に「政策提言」「地域振興・産業振興」「経営サポート」、「販路開拓・ビジネス創出」等を展開。 ・ 大学都市神戸産官学プラットフォームに団体会員として加盟。
大学との連携協定締結状況	2007 年 兵庫県立大学（本部：神戸市）との連携協定締結

■インタビュー要旨

産学連携の現状	・ <u>ものづくり産業支援から派生して、産学連携に取り組んできた。</u> ・ 大学の研究シーズの社会実装の推進、大学等と連携した企業の商品力強化、マーケティング支援などに取り組んでいるが、現在は、会員企業とスタートアップとの協業を促し、イノベーションを創出していくため、特に神戸大学との連携を深めている。 ・ 人手不足に対応し、企業の DX 推進のサポートにも力を入れており、神戸電子専門学校と連携し、企業の課題に対して学生が IT を活用した解決策を提案する取組みも実施している。 ・ これまでの産学連携の取組みは、理工系、社会科学系（経済等）分野が中心であるが、企業側は、大学との連携については、学生の採用につながるような大学とのパイプを構築することを期待して取り組んでいるケースが多い。 ・ 地元企業の認知不足もあり、大学が市内に多く立地しているにも関わらず、東京、大阪に流出している現状に強い課題意識を持っており、企業の人材確保の支援として、企業と大学のキャリアセンターとの就職情報交換会を実施している。 ・ リカレント教育として、商工会議所独自の取組みは展開できていないが、神戸大学と連携し、大学が実施するリカレント教育プログラムへの参加を会員企業に呼び掛けている。
産学連携の課題	・ 特に中小企業は、様々な経営課題を抱えているものの、人的リソースが限られていることから、大学との連携事業に参画する企業が一部にとどまっている状況。今後、より一層の企業の意識づけが必要。
産学連携の今後の展開と期待	・ スタートアップ分野において、スタートアップ（大学発スタートアップ含む）との協業・連携も目的の 1 つとした地元企業の新規事業担当者のコミュニティを一昨年度組織化し、大学との連携も含め、イノベーションの創出に向けて精力的に活動している。
企業の人材ニーズ	・ 人手不足が深刻化しており、特に中小企業においては、特定のスキル、知識を求めている余裕はない。特定のスキル、知識があれば、なお良いと思われるが、企業としてはハードルを下げなければ人材が確保できない状況にある。 ・ 会員企業の大多数は中小企業であり、語学スキルに特化して人材を採用しようという企業はまずないと思われる。一方、AI などの情報系人材は求められている。 ・ 理工系の人材を確保できないという声は大きい。

リスキリング に関するニーズ	・人手不足が深刻化しており、人材を確保できればよいが、厳しい状況の中で、企業としては、デジタル・IT を活用して生産効率を上げたいという思いが強く、DX に関するリスキリングのニーズは高い。 ・外国語学に関するニーズは、直接聞いたことはないが、外国人材を採用している企業からは、外国人の社員に対して、自社で日本語の勉強会を行っているが、大きな負担となっており、どこかで日本語研修をやってほしいというニーズは聞いたことがある。
その他 神戸市外国語大学に 求めること	・大学によっては地元企業との連携（共同研究等）を進めるため、商工会議所を通じて、積極的に企業へのアプローチを行っている大学もある。神戸市外国語大学においても、学生が地元企業のことをダイレクトに認知してもらえる取組みを広げてほしい。 ・商工会議所では、神戸市等と連携して、市内のものづくり企業の魅力を発信するために地域で一体となって行うオープンファクトリーの取組みに力を入れている。このような取組みは、市内の学生に地元企業の存在を認知してもらうために重要であり、神戸市外国語大学においても積極的に参画してほしい。 ・地元スタートアップの支援にも力を入れており、主催するスタートアップ関連のイベントには、海外からも参加があるため、海外ビジネスの一端に触れるという意味でも、学生に通訳等の面で参画してもらうなどの連携は考えられる。

市内の経済団体に対するインタビュー調査結果②（兵庫県中小企業家同友会）

■基礎情報

団体概要	・ 1970 年設立、兵庫県下の中小企業の経営者を会員とする経営者団体。 ・ 約 2,600 名の経営者が参加し、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」を目指して活動を展開。 ・ 大学都市神戸産官学プラットフォームに団体会員として加盟。
大学との連携協定締結状況	2007 年 兵庫県立大学（本部：神戸市）との連携協定締結 2016 年 関西学院大学（本部：西宮市）との連携協定締結 2021 年 神戸学院大学（本部：神戸市）との連携協定締結 2024 年 甲南大学（本部：神戸市）との連携協定締結 2025 年 芸術文化観光専門職大学（本部：豊岡市）との連携協定締結

■インタビュー要旨

産学連携の現状	・ 大学との連携については、<u>中小企業の認知を向上させ、将来的な採用に結びつけることを期待して取り組んでいるところ。</u> ・ 大学の講義・演習への中小企業経営者の講師派遣、インターンシップなど学生の企業体験等を通じた人材育成（キャリア教育）、課題解決型学習（PBL）への参画に重点的に取り組んでいる。 ・ 理系学部を有する大学との共同研究開発も想定しているが、企業とのマッチングにまでは至っていない。 ・ リカレント教育として、先端技術や社会のトレンドを学んでいく必要があると認識しており、会員ニーズ（DX など）を踏まえて、同友会の例会やセミナーに教員を派遣してもらっている。
産学連携の課題	・ 各大学とは、社会連携の担当部署を通じて、コミュニケーションを図っているが、社会連携部署と教員やその他の部署との間に、意識の違い、温度差を感じることがあり、連携がなかなか進まないのが現状。
産学連携の今後の展開と期待	・ 今後も、インターンシップに参加する 3 年生よりも低学年を対象に、キャリア教育に積極的に関与していきたい。 ・ リカレント教育については、今後もニーズにあった教員の派遣を依頼していきたい。その中で、適当なテーマがあれば、大学との共同調査研究活動に発展させていきたい。
企業の人材ニーズ	・ 売り手市場が続くなか、中小企業はそもそも採用ができておらず、常に人手が不足しており、新卒でどこの学部の学生が欲しいなど、こだわっていられる状況にない。 ・ 語学など特定のスキルや知識があるかどうかよりも、社会人として基本となるコミュニケーション能力や姿勢・熱意、適応力が求められている。
リスキリングに関するニーズ	・ これまで経験と勘に頼っていたところ、デジタル技術やデータ処理などに関する需要は高い。 ・ 語学に関するニーズは聞いたことはない。機器を通せば、しゃべれなくても意思疎通ができる時代。むしろ、外国人材の採用が増えてきており、職場で円滑に受け入れできるよう、海外諸国（特に東南アジア）の歴史的背景や文化について学べる機会があればよい。

その他 神戸市外国語大学に 求めること	・ 会員ニーズを踏まえると、地域の大学に対して、最も期待される役割は「地域への人材輩出・還流」である。市内中小企業にも間口を広げて、域内就職に向けたキャリア教育の充実に取り組んでもらいたい。 ・ 商学部などの社会科学系学部と比較すると、企業にとって外国語学部との連携イメージを持ちにくいのが実情である。神戸市外国語大学については、どうしても語学教育のイメージが強いため、教育・研究活動について対外発信を強化し、具体的な連携のイメージを可視化することにより、企業側も興味を示す可能性もある。 ・ 公立大学としては、産官学プラットフォームへの参画に留まらず、地域の拠点的な役割をどのように打ち出していくかが重要ではないか。
------------------------------------	---

【参考：採用と大学改革への期待に関するアンケート結果抜粋】

(2022年1月18日 一般社団法人 日本経済団体連合会)

調査概要

- 政府では、ポストコロナを見据えた新しい大学教育のあり方や、大学の研究力強化、ガバナンス改革、地方創生に資する地方大学の実現など、大学改革に関する様々な議論が行われている。
- かかる状況を踏まえ、経団連として、企業の求める人材像や採用動向、わが国の大学に求められる改革、さらには産学連携に関する考えや取組状況を把握し、提言「新しい時代に対応した大学教育改革の推進」の取りまとめに向けた検討の参考に供すべく、アンケートを実施。

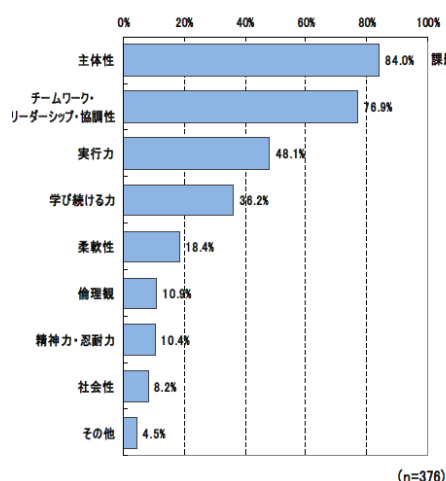
採用と大学改革への期待に関するアンケート

調査対象	経団連全会員企業（1,480社） 各都道府県の地方別経済団体に加盟する経団連非会員企業
調査期間	2021年8月4日～10月1日
調査方法	電子メールによる調査票送付、回収
回収企業数	回答企業数 <u>381社</u> 【内訳】 経団連会員企業 335社（回答率23%） 経団連非会員企業 46社

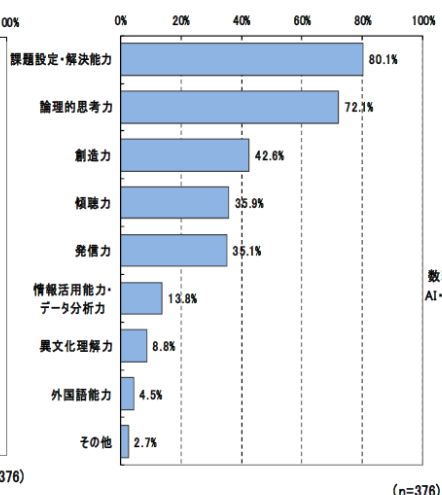
1. 採用の観点から、大卒者に特に期待する資質・能力・知識

- 特に期待する資質として、回答企業の約8割が「主体性」、「チームワーク・リーダーシップ・協調性」を挙げた。変化の激しい人生100年時代を迎え、「学び続ける力」と回答した企業が4割近い。
- 特に期待する能力として、「課題設定・解決能力」、「論理的思考力」、「創造力」が上位。いずれもSociety 5.0において求められる能力として、産学協議会で産学間で認識が一致したもの。
- 特に期待する知識として、「文系・理系の枠を超えた知識・教養」が最も多く、リベラルアーツ教育や文理融合教育を重視した教育の実践が重要。専門教育の重要性も認識。

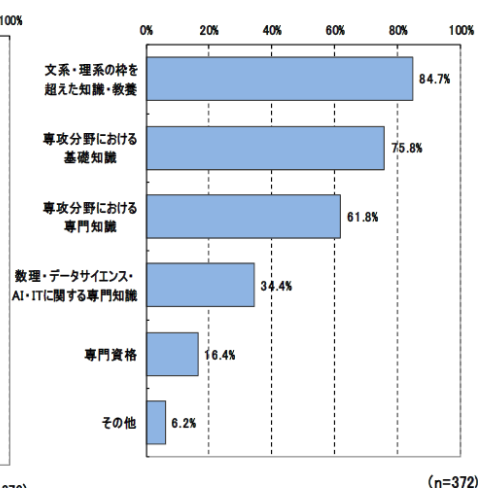
<特に期待する資質>



<特に期待する能力>



<特に期待する知識>



注：資質・能力・知識についてそれぞれ3つまで選択可能